

制服見直しに係るQ&A

	疑問・質問	回答
1	受験のときに不利になるのではないか。	本校は私服登校であることを高校等に事前に伝えるなどして対応する。不利になることはない。受験は冬のため、服装で寒さ対策ができることは有利になる。
2	私服を購入する機会が増え、経済的な負担が増えるのではないか。	学校で華美にならないよう指導しているので、子供たちが比較的安価なものを選ぶようになる。(西の原中学校からの情報)
3	毎日の服選びに負担を感じる。	子供たちが主体的に考えることにより、自律心が高まる。小学校で服選びに負担を感じることはあまりないと思われるので、7年生から負担になることはないと考えられる。
4	統一感がなく、一体感が出ないのではないか。	学校で協力する場面や学校行事等で、気持ちの面でも一体感を生み出すことはできる。場に応じた服装を選ぶよう指導する。
5	家庭の経済力が表れてしまう。	華美な服装にならないよう指導するため、特に気になることはない。(西の原中学校)
6	着替えはできるのか。	着替えができる教室を確保する。体育がある日は、家から体育着・ジャージで登校する。
7	校外学習のときに、生徒を見つけづらいのではないか。	顔が分かっているならば特に問題はない。西の原中学校の教諭も特に不自由を感じたことはないと言っている。
8	義務教育学校なので、中学生になっても環境が変わらない。制服を着ることで気持ちが変わるのではないか。	節目を大切に、教育課程を工夫していくことで気持ちを切り換えていくようにする。内面から育てていく。7年生に進級すると、中学校としての教科担任制が始まり、部活動も大会などの目標をもって取り組むことができる。行事毎にTPOに合わせた服装で参加することで切替ができる。
9	私服になったときに子供たちに指導ができないのではないか。	前期課程においても服装について特別厳しく指導しているわけではない。西の原中学校では、「学校は勉強するところだから、華美な服装はやめましょう。おしゃれする必要はないよね。」と指導しているという。この学区の子供たちやご家庭の様子から私服高校のように、ノーマルな服装に落ち着くことが予想される。
10	制服とあわせて校則を見直すことはあるか。	校則についても時代に合わせて、数年ごとに見直す必要がある。

11	今ある制服は今後着用できないのか？	今の制服も私服の一つになると考えている。使えるうちは着用することができる。
12	私服でいろいろな問題が出てきたらと思うと不安です。	制服でも私服でも時代ごとに日々問題は起きる。その都度話し合い、考える機会を持つことが学校という集団生活の学びになる。問題を不安ととらえるのではなく、学びの機会にしたいと考えている。
13	制服を見直す理由は？	ジェンダーの問題もあるが、今までも生徒の中では紫外線・化繊等が苦手な子もいたが、ずっと我慢していた。 冷え性の生徒がスカートで我慢していることは健康上以前から心配している。それぞれの体質・その日の体調にあったものを選択し身体的ストレスが少しでも軽減できる。 制服と違い私服は洗濯がこまめにできる。 暑い時期は制服・体操着の替えの枚数が少なく着替えを我慢していた生徒もいた。 このように制服を選択すると健康上の問題点が解決できないことが多くあるが私服にすることで解決の選択肢が出てくる。
14	標準服についてはどう扱うのか。	標準服について、検討委員会で改めて検討したところ、必要ないという見解となった。教師が子供たちに指導する際に「正装」の例として提示することにする。

※西の原中学校とは、千葉県印西市立西の原中学校のことで、30年前から私服登校を実施している公立の中学校である。

制服保護者会で出た質問や意見についての回答

	質問・意見	回答
1	カジュアルウィークの子供たちの反応はどうだったのか。子供たちからアンケートをとったのか。	・今回の制服保護者会を経て、最終的なアンケートをとるときに子供たちからの感想を聞く予定である。担任等からの聞き取りから、私服登校を肯定的に捉えている生徒が多いということは分かっている。
2	カジュアルウィークの通知の中に「ジャージで登校してもよい」と明記してほしい。	学校指定のジャージも私服の一部である。明記していくようにする。
3	制服以外のことについて 通学バッグ 体育着の名札 水着の指定	いずれも校内で検討し、保護者の金銭面での負担等を軽減できるようにする。

4	校則について今後変更になることがあるか。	生徒会での協議を経て、靴下の色についての制限をなくしたこともあり、これからも子供たちが主体となって見直していくことが考えられる。「合理的でないきまり」については積極的に見直しをしていく必要がある。
5	令和7年4月から私服となる場合、令和6年に7年生になる子供たちは制服を購入するのか。	来年度7年生になる子供たちについては制服を用意していただくことになる。できる限り制服リサイクルを活用することで負担を減らしていきたい。制服を学校で確保しておき、「制服レンタル」という取組も考えられる。